

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】平成28年6月30日(2016.6.30)

【公開番号】特開2016-83088(P2016-83088A)
 【公開日】平成28年5月19日(2016.5.19)
 【年通号数】公開・登録公報2016-030
 【出願番号】特願2014-217052(P2014-217052)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成28年5月13日(2016.5.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

可変表示の開始を許容する開始条件の成立にもとづいて可変表示を実行して所定条件が成立したときに、遊技者にとって有利な有利状態に制御する遊技機であって、

異常を検出する異常検出手段と、

演出音を出力可能な演出音出力部と、

前記開始条件が成立していない可変表示に関する情報を、保留情報として記憶する保留記憶手段と、

前記保留記憶手段に記憶されている保留情報の各々に対して所定の表示態様によって保留表示を行う保留表示手段と、

実行中の可変表示に対応する特別画像を所定領域に表示する特別画像表示手段と、

可変表示の実行中に、前記特別画像の表示態様を変化させるときと、前記特別画像の表示態様を変化させないときにおいて共通に実行される共通演出と、当該共通演出を実行した後に前記特別画像の表示態様を変化させる成功演出または前記特別画像の表示態様を変化させない失敗演出とを実行可能な演出実行手段と、

前記異常検出手段によって異常が検出された場合に、報知音を前記演出音出力部から出力する報知音出力手段と、

設定条件が成立したことにともづいて、消費される電力を減少させる節電状態に移行し、解除条件が成立したことにともづいて、前記節電状態を解除する節電状態制御手段とを備え、

可変表示の実行中における複数タイミングのうち、いずれのタイミングにおいて前記共通演出を実行するかに応じて、前記成功演出を実行する割合が異なり、

前記節電状態制御手段は、前記解除条件が成立した場合、前記設定条件が成立してから前記節電状態に移行するまでの期間より短い期間にて前記節電状態を解除し、

前記報知音出力手段は、前記節電状態に移行されているときであっても、前記異常検出手段によって異常が検出された場合に前記報知音を出力可能である

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

(手段1)本発明による遊技機は、可変表示(例えば、特図の可変表示、飾り図柄の可変表示、特図及び飾り図柄の可変表示など)の開始を許容する開始条件の成立にもとづいて可変表示を実行して所定条件(例えば、大当り図柄を導出表示すること)が成立したときに、遊技者にとって有利な有利状態(例えば、大当り遊技状態等)に制御する遊技機(例えば、遊技機1など)であって、異常を検出する異常検出手段(例えば、遊技制御用マイクロコンピュータ100における、閉鎖状態であるにもかかわらず大入賞口に遊技球が入賞したことを検出する部分)と、演出音を出力可能な演出音出力部(例えば、スピーカ8)と、開始条件が成立していない可変表示に関する情報を、保留情報として記憶する保留記憶手段(例えば、第1特図保留記憶部151A、第2特図保留記憶部151B、第1始動入賞時受信コマンドバッファ194A、第2始動入賞時受信コマンドバッファ194B等)と、保留記憶手段に記憶されている保留情報の各々に対して所定の表示態様によって保留表示を行う保留表示手段(例えば、ステップS162の第1保留追加処理において第1始動入賞記憶表示エリア5HLに保留表示を追加する処理や、ステップS165の第2保留追加処理において第2始動入賞記憶表示エリア5HRに保留表示を追加する処理など)と、実行中の可変表示に対応する特別画像(例えば、当該可変表示に対応する保留表示を所定のアクティブ表示エリアAHAに移動させたアクティブ表示、または、当該可変表示に対応するアクティブ表示に応じた情報を表す特別画像など)を所定領域(例えば、アクティブ表示エリアAHAは、例えば画像表示装置5の中央下部に設けられる。このアクティブ表示エリアAHAには、少なくともアクティブ表示AHが表示され、当該アクティブ表示AHの他にこのアクティブ表示AHを囲うアクティブ表示枠AHWやアクティブ表示枠AHWを含む所定の範囲を含む領域など)に表示する特別画像表示手段と、可変表示の実行中に、特別画像の表示態様を変化させるときと、特別画像の表示態様を変化させないときとにおいて共通に実行される共通演出(例えば、第1系統変化演出において、図形群Y1がアクティブ表示に衝突する前までの演出や、第2系統変化演出において、矢Y2がアクティブ表示を囲うアクティブ表示枠に衝突するまでの演出など)と、当該共通演出を実行した後に特別画像の表示態様を変化させる成功演出(例えば、第1系統変化演出において、アクティブ表示に図形群Y1のいずれかの形状「星」の図形が衝突して星の表示態様に変化する演出や、第2系統変化演出において、アクティブ表示枠に矢Y2が衝突してアクティブ表示枠の線の太さが変化する演出や、これらの第1系統変化演出と第2系統変化演出とを両方実行してアクティブ表示やアクティブ表示枠などの表示態様を変化させる演出など)または特別画像の表示態様を変化させない失敗演出(例えば、第1系統変化演出において、アクティブ表示に図形群Y1のいずれかの形状「星」の図形が衝突する前に消滅してアクティブ表示の表示態様を変化させない演出や、第2系統変化演出において、アクティブ表示枠に矢Y2が衝突する前に矢Y2が消滅して、アクティブ表示枠の線の太さが変化させない演出や、これらの第1系統変化演出と第2系統変化演出とを両方実行してアクティブ表示またはアクティブ表示枠の一方または両方の表示態様を変化させない演出など)とを実行可能な演出実行手段と、異常検出手段によって異常が検出された場合に、報知音を演出音出力部から出力する報知音出力手段(例えば、演出制御用CPU120における、エラーを検出したことを指定するエラー検出指定コマンドを受信した場合に、ステップS2204、S2304においてエラー報知演出を実行する部分)と、設定条件(例えば、客待ちデモ演出が開始されてから30秒が経過すること)が成立したことにともづいて、消費される電力を減少させる節電状態に移行し、解除条件(例えば、遊技者の動作を検出すること、始動入賞が発生すること)が成立したことにともづいて、節電状態を解除する節電状態制御手段(例えば、演出制御用CPU120における、ステップS2215において節電状態を設定し、ステップS2318において節電状態を解除す

る部分)とを備え、可変表示の実行中における複数タイミングのうち、いずれのタイミングにおいて共通演出を実行するかに応じて、成功演出を実行する割合が異なり、節電状態制御手段は、解除条件が成立した場合、設定条件が成立してから節電状態に移行するまでの期間(例えば、 $T1$)より短い期間(例えば、 $T2$)にて節電状態を解除し(例えば、演出制御用CPU120が、ステップS2209~S2215において、客待ちデモ演出が開始されてから30秒が経過することが成立した時点から $T1$ 経過後に節電状態を設定し、ステップS2312~S2318において、節電状態において遊技者の動作を検出することまたは始動入賞が発生することが成立した時点から $T2$ ($T1 > T2$)経過後に節電状態を解除する)、報知音出力手段は、節電状態に移行されているときであっても、異常検出手段によって異常が検出された場合に報知音を出力可能である(例えば、演出制御用CPU120が、ステップS2209~S2215において、客待ちデモ演出が開始されてから30秒が経過することが成立した時点から $T1$ 経過後に節電状態を設定し、ステップS2301のY、S2304において、節電状態にてエラーを検出したことを指定するエラー検出指定コマンドを受信した場合に、エラー報知音演出を実行する)ことを特徴とする遊技機である。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

このような構成によれば、遊技機は、実行中の可変表示に対応する特別画像の表示態様が変化するかを煽る共通演出の実行タイミングに注目させることができる。また、遊技機は、実行タイミングに注目させることにより、遊技者の期待感を向上させることができる。